

Photo Yaotsu ~まちの話題~



「命の手紙」で包んだ弁当を届ける生徒ら

高齢者の事故防止を願って

八百津高校の生徒らがお年寄りの交通事故防止を願って宅配弁当を交通安全メッセージで包み届ける、「命の手紙」作戦を実施しました。町社会福祉協議会が毎月2回行っている宅配食事サービスに全校生徒が協力しました。

当日は、生徒会代表、給食ボランティア、加茂地区交通安全協会員ら約40人が参加し、「必ず横断歩道を渡り、安全確認を」や「日没が早くなり反射材を身に付けて」などとつづったメッセージと弁当を高齢者67世帯に宅配しました。

「命の手紙」は11月まで4回実施される予定です。



交通安全を呼びかける交通ママら

安心・安全な町を目指して

和知中山地内交差点と久田見野黒地内で、「秋の交通安全運動」の一環として、加茂警察署や加茂地区交通安全協会支部・分会交通ママら約40人が交通安全を呼びかける啓発活動を行いました。

参加者は「秋の全国交通安全運動です。交通安全に気をつけていってらっしゃい。」などと声をかけながら、啓発グッズ800セットを停車した車のドライバーに配り、交通安全を呼び掛けました。

交通事故防止を訴え

「秋の交通安全運動」の一環として、町ファミリーセンターにて『八百津町交通安全町民大会（交通法令講習会）』が行われ、約350名が参加しました。

町民大会では、交通安全意識を高めると共に、悲惨な交通事故の根絶を目指し交通安全宣言をし、講習会では、加茂警察署の安藤交通係長がシートベルト着用の大切さなどを訴えました。

また、町民大会では、優良運転者が表彰されました。



交通事故防止を訴える安藤交通係長

自分たちの地域は自分たちで守る

地震や自然災害で防災意識が高まる中、地域防災リーダーを目指して「八百津町防災アカデミー」が町防災センターで開かれ、町内から約50名が参加しました。

講師に大学教授の方や、実際に東日本大震災で活動された防災士を招き講義を受け、昼食には非常食のアルファ米を利用し、普段経験することのない貴重な体験をしました。

この講座は9月から月1回開催され、12月まで全4回行われます。



メモなどを取り防災士の話を聞く参加者ら

万が一に備えて

消防団員の消防技術の向上と士気の高揚を図り、初期消火の必要性を深く認識し、消防活動に寄与することを目的として、消防団の夏季訓練が八百津中学校周辺で行われました。

今回は、八百津中学校付近で発生した火災を想定し、野上白鬚ため池を水利とし、八百津中学校サブグラウンドを火点とした中継送水訓練を実施しました。

当日は降りしきる雨の中、参加した消防団員約190名が他分団の団員と協力し、消防自動車・可搬ポンプなど18台を中継し消火訓練を行いました。



実際の火災を想定し訓練をする消防団員ら